

施設案内

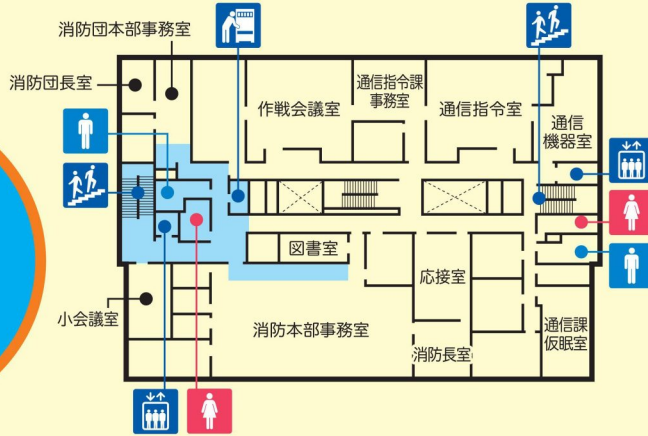
4F

- 倉庫
- 文書庫
- 防災備蓄倉庫



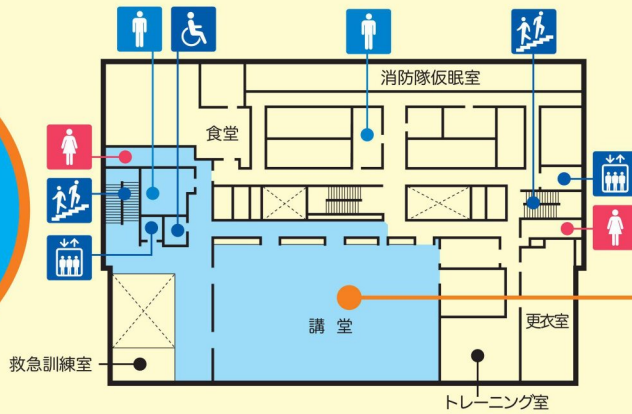
3F

- 消防本部
- 通信指令室



2F

- 講堂
- 食堂
- 仮眠室



1F

- 緊急車両車庫
- 消防署
- 防災学習館



新しいまちづくりと市民を守る防災拠点

いわくに消防防災センターは、市街地のほぼ中心に位置し、地盤が堅固な高台であるという災害に強い地勢を活かし、機能的かつ合理的な配置計画、環境への配慮、自然エネルギーの積極的な活用などをコンセプトとして整備しました。



2F 講堂

最大 225 名収容可能で用途に合わせて 3 分割できる。



1F 車庫

迅速・円滑な緊急出動や活動が可能な配置



1F エントランス

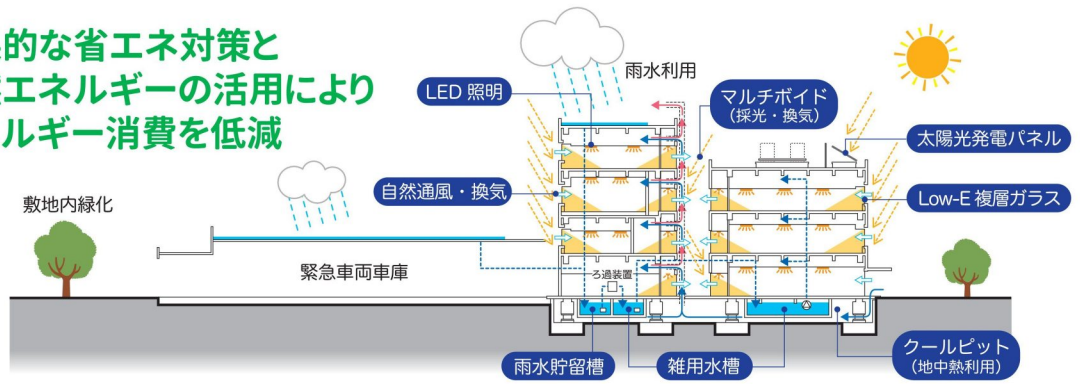
吹き抜け空間で、明るく開放的なホール

省エネ 環境への配慮



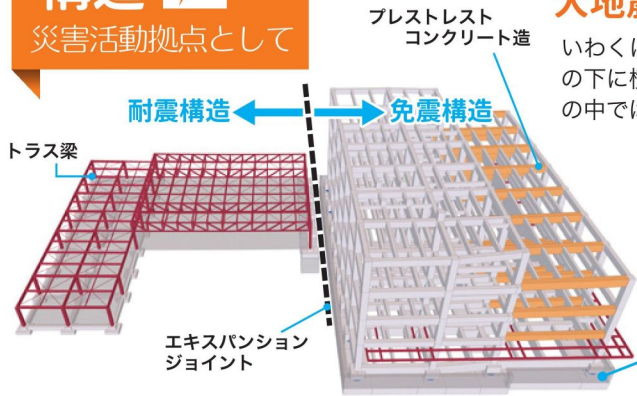
効果的な省エネ対策と 自然エネルギーの活用により エネルギー消費を低減

- クールビット
- マルチボイド
- 複層ガラス／自然換気／自然通風
- 雨水利用
- LED 照明
- 太陽光発電パネル



構造

災害活動拠点として



大地震後直ちに災害活動拠点として機能する免震構造

いわくに消防防災センターの庁舎棟は『免震構造』という仕組みで作られています。建物の下に横方向に柔らかく動く『免震部材』を設置することで地震の揺れが吸収され、建物の中ではあまり揺れを感じない構造になっています。

揺れを吸収する積層ゴム

揺れを吸収

ゆっくり横にすべる積層ゴム

鉄板 (ステンレス)

ブレーキをかけるダンパー

揺れを吸収

※防災学習館の床面がガラス張りになっており、実物の免震材を見ることができます。

防災学習館

海・山・川に囲まれた岩国市、そこに潜む災害に 備えるための知識を習得し疑似体験ができる学習施設

- 開館時間** 9:00～17:00
- 休館日** 月曜日、12月29日～1月3日
- 入館料** 無料（団体利用の場合は要予約）

煙避難体験
煙が充満した迷路空間から避難誘導灯を目印に脱出する体験

防災シアター
壁＆床の二面をスクリーンとする立体的なシアターで、岩国市の地域に見合った防災対策を学習できる総合演出

消火体験
映し出される火災映像に向かって、訓練用消火器で消火体験

119 番通報体験

地震体験
震度 2～7 までの揺れや過去の大地震または想定地震の揺れを体験

防災グッズ展示

Q&A コーナー

訓練

多様な訓練に対応

訓練塔(主塔・副塔・補助塔)は、複雑多様化する災害に対応できるよう、各種消防活動訓練・救助訓練等の実施が可能な施設

副塔

主塔

補助塔

高機能消防指令センター

新システム導入により、迅速かつ効果的な指令統制を図る

高機能消防指令システム

119番通報から、出動車両の自動編成、出動指令、現場支援に至るまで、高度にIT化されたシステム。各種支援情報等により、これまでより迅速で効果的な消防救急活動が可能となります。

消防救急デジタル無線システム

従来、音声中心のアナログ通信方式から多様なデータ通信が可能なデジタル通信方式を導入。複雑多様化する消防救急に対応するとともに、秘匿性も向上することから個人情報を守ることが可能となります。



指令装置

指令装置は、指令台・自動出動指定装置・地図検索装置等から構成され、46型12面の液晶モニターにて連携する各種情報の収集を一括して取り扱えます。また、輻輳時には同時に8事案まで対応可能です。



消防用高所監視装置

岩国医療センター屋上及び岩国運動公園内に設置し、災害現場等の高所監視映像を通信指令室及び災害対策本部に通信します。災害状況を視覚的に把握し、消防隊の誘導などリアルタイムに指令業務を行うことができます。



出動車両運用管理装置

通信指令室の管理装置と各車両の車両運用端末装置から構成され、各車両では指令内容や各種支援情報を表示することができます。また、GPS機能を活用したリアルタイムな位置情報や活動内容の把握により現場に最も近い車両の選択・編成が可能です。



無線基地局

電波法関係審査基準の改正に対応し、高照寺山・そうえもん山・羅漢山・消防本部の4箇所に設置しました。活動部隊間及び部隊内の無線交信を円滑かつ迅速に結ぶ無線システムです。